

全農協労連青年部
オンライン第3回学習会

『協同組合で働く事』

～事業や組合員とどう向き合うのか～

全農協労連青年部

副部長 木村 智紀

本日の流れ

- ・ 協同組合で働いている中でちょっと不思議に思っているかもしれない「お客さん」と言うワードに着目します。
- ・ 前提となる協同組合とは何かについてもお話ししていきます。

～株式会社と協同組合の違い～

①株式会社とは？

株式を発行して投資家から資金を調達し、その代金で事業活動を行なう会社のこと。事業が成功して利益が上がれば、株価の上昇で株主の利益が増え、株数に応じて配当金や株主優待を受け取ることにもできる。半面、事業がうまくいかなければ配当金は無く、株価も下がる。

②協同組合とは？

共通する目的のために個人あるいは中小企業者等が集まり、組合員となって事業体を設立して共同で所有し、民主的な管理運営を行っていく非営利の相互扶助組織。

農協は、農業者を中心とした「組合員」が、農家の営農と生活を守り高めることなど、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合。

	協同組合	株式会社
目的	利潤を追求せず、組合員の生産と生活を向上させること	利潤の追求
組織している人たち	農業者、漁業者、森林所有者、勤労者、消費者、中小企業の事業者などの組合員	投資家、法人（株主）
運営する人たち	組合員とその代表者	株主の代わりに運営する経営者
運営方法	1人1票制（民主的な運営）	1株1票制

実際はどう？

- ① ノルマ化された個人目標
目標達成のために、『自爆』せざるを得ない. . .
- ② 利潤重視の事業展開
(特に信用・共済部門)
不特定多数への商品販売. . .
- ③ 不採算部門の全農委託や株式会社化
斎場やGSを子会社化

- ・ J A 共済とは？

「一人は万人のために、万人は一人のために」という「相互扶助（助け合い）」を事業理念に事業を展開。

- ・ J A バンクとは？

金融サービスの提供により、農林水産業や国民経済の発展に貢献することを事業理念に事業を展開。

なんでこうなった？

① 日本経済の変化

日本経済はここ数年で変化してきたように感じます。アベノミクスにより表向きは良くなったかもしれませんが、それは一部の財界や大手企業だけであって、中小零細企業は辛苦を嘗めています。

また、コロナ禍の中で次々と破綻や倒産をしている企業が増加しています。

こうした背景の中、わたしたちの職場では数字を追い求められており、それが組合で働くことの希薄さに拍車をかけていると感じます。

② J A グループの動き

- ・ J A グループの動きとしても J A バンク基本方針や J A 自己改革等、組合員を形骸化しているように感じ取れます。

- ・ J A バンク基本方針（一部抜粋）

1. J A ・ 信連 ・ 農林中金の総合力を結集し、全体として実質的に一つの金融機関として機能するような運営システムを確立する。
2. 全国どこでも、良質で高度な金融サービスの提供を行う。
3. J A バンク全体として、資金を安全かつ効率的に運用・活用し、経営体制・リスク管理能力・財務体力を超えた資金運用を防止する。
4. 経営破綻を未然に防止するため、問題の早期発見により経営改善を行うとともに、経営改善が困難な場合には、速やかに組織統合を行う。

- ・ 「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択して、取り組み方針を制定。随所に『お客さま』の言葉が目立つ。（各信連）

～まとめ～

- ・ 事業実績をノルマ化し、組合員、利用者に販売を迫る。あくまでもベースは組合員であって必要としていないものを販売するやり方から脱却しない限り『お客さん』化が進むのではと感じています。
- ・ 金融、共済部門では、CMなど不特定多数に商品販売やニーズ喚起を行っており、それが組合員という考えを形骸化しているのかなと思います。

・ じゃあ、労働組合としてどう解決していけばいいのか。それは職場の矛盾や疑問点など小さなことから少しずつ解決していければと思います。

・ 協同組合に働く一人として、協同組合の在り方を一度考えてみませんか。

ご清聴ありがとうございました。